

## \*\*\* 対話型バージョン \*\*\*

---

EXEC [ 最初の行 ], [ 最後の行 ] ;

---

**機能 :**

EXECはキーボードあるいはインプットファイルから、対話型セッションで既に入力したTSPコマンドのある範囲の行を実行(あるいは再実行)するためのコマンドです。

**使用法:**

EXECは現在使用しているモードによって多少異なります。コレクトモードでは、EXECは今集めた範囲の行を実行するのに用い、終了後対話モードになります。これはコレクトモードからの標準的な抜け方です(別な方法はEXITコマンドで実行を中止することです)。指定した範囲全体が実行されますから、行番号の引数はそれを付けても無視されます。範囲中の行は、必要ならEXECする前にEDITやDELETEすることができます。

対話モードでは、EXECコマンドに2つまでの引数を付けられます。引数がない場合、以前のコマンドが再実行されます。最初の行だけを与えた場合その一行だけが実行され、2行を与えた場合はその中に含まれる範囲が実行されます。どちらにしても、これらの行は以前に実行され、編集されたコマンドか、あるいはコレクトモードかINPUTされたファイルの後で入力されたが、EXITコマンドで削除されたコマンドです。

DOS/Win TSP では、1行を選択し、実行するのに上/下の矢印のキーを使って簡単に行えます。